

エンジョイ! 学園ライフ

私たちの

高等学校

アイデア満載の「桜和祭」

「桜和祭」としてスタートして3年目となる昭和学院中学校・高等学校の文化祭が、10月1日(土)、2日(日)の2日間開催されました。

今年の桜和祭のテーマは「黄金時代」最も盛んな時代。文武両道を目指す昭和学院の生徒一人ひとりがそれぞれの場所、その持っている力を大いに発揮して欲しいという願いが込められています。

「未来」をテーマにしたオブジェが中学生の協力で制作され、ダリの「記憶の固執の崩壊」をテーマにした美術部の壁画作

Study Lesson Classmate



趣向を凝らした催しでにぎわった桜和祭

品がエントランスホールに飾られました。メインアリーナでは吹奏楽部の心躍るような演奏、ダンス部、バトント部、軽音楽部などの明るい演奏、アイデア満載の楽しい活劇、教室の前には行列ができるほどの人気。高校2年生は模擬店、緑日、フードコートを開店し、多彩なメニューは売り切れが出るほど大好評でした。



◇所在地 市川市東宮野2-17-1
校長 大井 俊博



昭和15年に「昭和女子商業学校」として開校し、今年で創立76年目を迎えます。この間、昭和学院中学校、続いて高等学校が開校しました。長く、女子教育

昭和学院高等学校

「チーム昭和」の仲間たち



▶キャンパス内の伊藤友作自邸で行われた茶会

の府としての使命を果たす。70周年を記念して平成22年に新しいキャンパスが完成しました。淡いオレンジ色を基調にした校舎は青々とした芝生に囲まれ、同年、市川市の景観賞を受賞しました。

「明敏謙讓」が建学の精神で、明朗にして健康、自主性に富み、謙虚で個性豊かな人間育成が目指されています。広々としたキャンパスで学ぶ生徒は、相手を思いやる気持ちにあふれた温厚で素直な生徒ばかりです。

中学から進学した生徒と高校から入学する生徒は、4月に実施される3泊3日のフレッシュマンキャンプで、友作先生の旧邸が建てられています。大正年間建造の建物で登録有形文化財として文化庁から指定を受けている建物です。真間川を挟んで、小・中・高・短大からなるキャンパスの中央に民家工法で移築されました。現在は茶道、華道の課外活動や、百人一首大会など各種行事に活用されています。

今回は11月29日に掲載します。

自分たちで作り上げる魅力

生徒会長

齋藤 啄摩



イベントが盛んな本校では私たちが生徒会に責任ある役割です。生徒全員が主役となるイベントの企画・運営、特に桜和祭の企画・運営から自分たちで作りに上げる魅力。話し合ってみると、意見をまとめる経験は、大変ですがとても勉強になります。生徒会、部活、学習と毎日やることが多いですが、充実したスクールライフを送っています。

校長の声
大井俊博校長 本校は全国大会で毎年活躍する女子バスケットボール部、新体操部を筆頭に、スポーツ強豪校としても知られています。今年もインターハイに86名の優秀な選手を送り込みました。文化部も多くの大会で好成績を残しています。

本校の生徒たちはのびのびと学び、部活動にも励み、明るさと素直さに満ちています。私たち教師とも元気に挨拶を交わす素直な生徒たちを感じています。より高いレベルでの文武両道、進学指導体制の組織的な構築などに、教師が一丸となっています。

交通

JR総武線・都営新宿線「本八幡」駅、または京成本線「京成八幡」駅下車、徒歩約15分。

エンジョイ! 学園ライフ

私たちの

中学校

書評合戦でチャンプ本決定

Study Lesson Classmate



毎朝の朝読書の時間

毎朝、始業前の20分間は「朝読書」をするのが慣例となっています。1学期はそれぞれ好きな本を1冊、2学期と3学期は全教科の教師が推薦する自冊の中から関心のある本を選んで読みます。

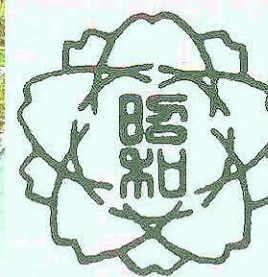
教師による推薦本のリストは「書の旅、羅針盤」として生徒に配布されますが、物語、小説、詩集、スポーツ伝、社会派ドキュメンタリーなど、幅広いジャンルの本が網羅されています。

読書の後、読んで面白かったり、感動した本を人に勧める「ピリオバト

ルが行われます。「ピリオバト」は書物などを意味するラテン語由来の言葉で、ピリオバトとは立命館大学の谷口忠大准教授が考案した「ゲーム感覚を取り入れた「書評合戦」です。

各々の生徒が本を紹介し合い、もっとも読みたいと思う本を投票で決める催しで、プレゼンターと呼ばれる推薦人は質疑

◇所在地 市川市東宮野2-17-1
校長 大井 俊博



「チーム昭和」が生徒たちの合言葉です。意見を出し合い、お互いを尊重しつつ同じ課題に取り組むことをモットーにしています。日本の従来の教育にあっ

昭和学院中学校

豪州で1週間の語学研修

た知識の伝達、注入を中心とした授業ではなく、生徒が主体的に問題を発見し、解決法を見出し、いくつアクティブラーニングが採用されています。

特に強化を図る英語では、来年度の1年生から授業はすべて英語で行うアクティブラーニングに取り組みます。2年生では国内イングリッシュキャンプ、3年生になると、集大成として1週間のオーストラリア語学研修旅行を実施します。3年生全員が現地の家庭でホームステイし、高校や大学で語学研修に励みます。

来年度からは中学生全員にiPadが貸与され、ICTを利用した学習が行われます。すでに今年度から一部導入され、授業をはじめ様々な学習活動に活かす試みがスタートしています。

建学の精神である「明朗で健康、自主性に富み、謙虚で個性豊かな人間を育てるために、充実した図書館が設けられています。」学校



ICTを使った英語授業

今回は11月29日に掲載します。

皆が楽しく過ごせるように

生徒会中学校委員長
生徒会は、学校のみんなが楽しい毎日を送れるようにするのが役割です。いろいろな意見をまとめる、学校がどうしたら良くなるか考えるのは、自分を磨く絶好の機会です。将来に絶対役立つ経験ができていきたいと思います。

校長の声
大井俊博校長 昭和学院は、「知」「徳」「体」のバランスのとれた全人教育を目指し、将来、さまざまな分野のリーダーとして活躍できる生徒の育成に励みます。

本校が求める生徒像は3つあります。①自ら考え、自ら学び、自ら行動できる生徒②高い志を持ち、学習やスポーツ、文化活動に励む「文武両道」を目指す生徒③自らを律することができる、人を思いやることのできる人間性豊かな生徒です。

中高一貫教育校である本校では、中学3年間で生徒一人ひとりが自分で考え、学び、行動できるなど、今後の人生を豊かにするための基礎固めを目指します。

学習面で特に大切なのは、教科を嫌いにさせないこと。勉強に対する興味・関心を高め、部活や行事に積極的に参加する、何事にも一生懸命に取り組む姿勢を育てます。確かな基礎力を養い、高校3年間の飛躍的な成長に備えます。

交通

JR総武線・都営新宿線「本八幡」駅、または京成本線「京成八幡」駅下車、徒歩約15分。